

第259回福島県災害対策本部員会議（概要）

災害対策本部総括班まとめ

- 1 日 時：平成24年3月26日（月） 10：35～10：45
- 2 場 所：災害対策本部・自治会館303会議室
- 3 内 容：

（1）環境放射能測定結果（暫定値）の状況について

事務局：別紙資料により説明

平成24年3月26日午前8時現在、最小値が西会津町野沢小学校の $0.05\mu\text{Sv/h}$ 、最大値は飯舘村長泥コミュニティセンターの $6.16\mu\text{Sv/h}$ となっている。概ね横ばい又は減少傾向を示している。

（2）ワンストップ相談窓口 週報について

オフサイトセンター事務局：欠席により省略

（3）「農林水産業に関する相談窓口」の利用状況について

農林水産部長：別紙資料により説明

先週の相談件数は25件。内訳としては、営農に関するものが6件、出荷・流通に関するもの9件などとなっている。

米のモニタリングによる作付けに関して8件、野菜等の作付けに関して3件となっている。

具体的な内容についてであるが、4月から食品の基準が100ベクレルになるということから、米についても100ベクレル以上は出荷できなくなるのか、自家米の作付けは可能なのかといった問い合わせがあった。

これについては、100ベクレル以下については、24年産米については新たに適用になるが、23年産米については特別隔離対策ということで国の買い上げ制度により対応する説明をしている。

（4）「原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口」利用状況について

原子力損害対策担当理事：別紙資料により説明

先週の相談件数は326件で、だんだん落ち着いてきている。

内容については、自主的避難についての手続き等の問い合わせがまだ多い状況で

ある。その他については、財物の基準について早く示して欲しい、旧緊急時避難準備区域の精神的損害賠償が今年の8月末で終期を迎えることから納得いかないという問い合わせがあった。

(5) 経営・金融・労働の相談状況について

商工労働部長：別紙資料により説明

先週の相談件数は11件。

経営については、いわき市の食品加工会社で風評被害で売り上げが減少しているため、今後の対策についての相談があった。

金融については、制度資金に関する融資要件についての問い合わせがあった。

労働については、退職された方が1ヶ月経っても賃金が支払われないという相談があった。

(6) 「農作物の放射性セシウム対策に係る除染及び技術対策の指針」(第1版)の作成について

農林水産部：別紙資料により説明

農用地の除染については、昨年12月に県としての基本方針を定め周知を図っているところであるが、具体的な対策の中身についてより分かりやすく対応するために、農用地の種別あるいは作物別に具体的な対策の手引きのようなものを取りまとめたので概要を説明する。

内容としては大きく3つに分かれており、

第1点としては、農用地の除染については、水田・畑地、樹園地、牧草地を対象として反転耕や深耕、樹皮の洗浄、牧草の剥ぎ取りなどの具体的な方法を示している。

第2点としては、水稻や野菜、果樹等の主要作物別にカリの施用、土壌酸度調整等の放射性物質の吸収抑制対策を示している。

第3点として、農業総合センターによる試験研究成果等を掲載している。

具体的に、別紙の「作物別対策の概要」に基づいて説明する。

土地利用型作物(水稻)については、対策としては反転耕や深耕、土壌改良資材の施用を示すとともに、栽培上の留意点についても示している。また、具体的な除染作業については、写真や図示を加えて説明をしている。以下、野菜、花き、果樹、飼料作物等につきましても、同様に除染対策、栽培管理、飼料管理等について示すとともに、農作業上の留意点についても示した。ページ数は約100ページ。市町村や関係団体へ配布するとともに、県ホームページにアップし活用を図っていきたい。また、新たな成果が得られれば随時内容を更新していききたい。

(7) 平成24年4月1日以降の各種相談窓口について

生活環境部長：別紙資料により説明

窓口の受付時間等に変更がある。周知をしていきたい。

(8) 平成24年4月1日以降の災害対策本部員会議の進め方について

生活環境部長：口頭により説明

4月以降の災害対策本部員会議であるが、避難所が全て閉鎖されたこと、物資の提供も終了したこと、地震津波の災害応急対策がほぼ終了したことを踏まえ、原則週1回月曜日の開催とする。また、対策本部の事務局についても再編、スリム化を図り、夜勤体制を終了し夜10時までの勤務とする。詳細については整理し情報提供したい。

松本副知事：

なお、突発的な問題あるいは緊急的事態が発生した場合には、随時対策本部を開催したい。

知事：

今日で松本副知事は最後の本部会議となる。また都道府県からの応援も変更となると聞いている。本当に1年間ご苦労様でした。

一昨日、相馬港の防波堤の起工式があった。この厳しい中でも、それぞれ新たな福島県がスタートしている。

また、昨日まで4日間、声楽アンサンブルコンテストを実施したが、全国からたくさんの方に集まっていた。心ひとつになって福島県を支援していこうという気持ちを感じた。

皆様のこの1年間の活躍に対し感謝するとともに、今後ともそれぞれご支援をお願いしたい。間違いなく今福島県は、新しい「ふくしま」に向かって歩み始めている。